



つばめ だより

総合介護福祉施設
和朗園
ケアハウス 佐和

〒569-0015 高槻市井尻2丁目37番8号
TEL 072-660-3600 (代表) FAX 072-660-3601
<http://www.kyousei-fukushi.or.jp/warouen/>

発行元：社会福祉法人 恭生会 和朗園・佐和

発行月：平成26年8月 VOL. 49

毎年恒例 和朗園・佐和最大の夏祭り！ 2014年納涼祭開催



納涼祭本祭 特設キッズコーナー



かんまき和光保育園 園児によるプログラム

7月18日に前日祭、19日に本祭を開催しました。
前日祭では、ご利用者と職員によるデュエットや『かんまき和光保育園』の園児たちによる元気な歌の発表があり、ご利用者と一緒に夏のひとときを楽しみました。
本祭は準備中に雨が降るなど心配もありましたが、無事に開催することが出来ました。
かき氷やフランクフルトなどの屋台やご利用者によるカラオケ大会職員による出し物で納涼祭は大賑わいでした。今年は地域の皆様も多く参加され、特にお子さんの参加も多くみられました。アニメ映画の上映やスカットボール・スパーボールすくいなどのゲームなどのキッズコーナーで夢中になって楽しんでおられました。
最後のとりは、『桜川靖月会』の皆さんによる江州音頭での盆踊りをご利用者、地域の皆様、職員で盆踊りを楽しみました。
納涼祭にご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。
行事委員会

和朗園災害に備えての取り組み

福祉避難所（二次避難所）

ここ数年、災害のニュースを多く目にするようになり、一度の災害の被害が局所的に大きくなっています。災害により、家屋が居住不可能になった場合や危険が切迫し、避難が必要となった場合、『一次避難所』に避難することになります。

五領地区では五領小学校や上牧小学校、五領中学校、五領幼稚園、上牧幼稚園、五領公民館が高槻市に指定された避難場所となっています。

被災者のうち避難所での避難生活が困難と思われる高齢者や、居住等使用できなくなった高齢者や障がい者のうち、要介護者や障害の程度が高く、一次避難所での避難生活が困難な避難者を避難させるために『福祉避難所（二次避難所）』があります。

近年の災害を通じて、災害で最も被害を受ける人は高齢者、障がい者だということ、避難所や仮設住宅に移ってから亡くなる方の9割が70才以上の高齢者であることがわかってきており、対策として福祉避難所（二次避難所）の設置が急がれています。

和朗園では、高槻市と『二次避難所の開設及び運営に関する協定』を結び、一次避難所での避難生活が困難と判断され、高槻市から受け入れ要請があった災害時要支援者をスムーズに受け入れることができる体制づくりを市と連携し進めています。もしもの時に地域の力になれるよう、災害対策を進めてまいります。



平成26年 防災訓練の様子

リスクマネジメント委員会

「事故予防・防止取り組みについて」

リスクマネジメント委員会では、事故予防・防止に取り組んでいます。まず事故が起こる前の「ひやりはつ」とは、事故には至らないものの、一歩手前の危険な状態や行為、事故には直結したかもしれない事象の事をさします。この「ひやりはつ」を収集し、その事例に対して対策を考え職員間で情報共有を行うことで事故予防に繋がっています。

万が一事故が起こってしまった場合は対策を検討し実施します。その対策も再検討が必要なのかなど、その後経過も辿りながら事故防止に努めています。また、事故件数の集計を行い、こういった種類の事故が多くあるのか、こういった場所で起こりやすいのか、他の方にも当てはまるのではないかなどを分析し、職員に発信をして同じ事故を繰り返さないための取り組みも行っています。

その同じ事故を繰り返さない取り組みの一つとしてこういった介助が危険なのか、こういった状況にリスクがあり、こういった対応が望ましいかなどを、現場の教育とは別に勉強会を開催して職員教育に力を入れています。

ご利用者が安心して生活が送れるように、また行事などを楽しんでいただけるようにリスクマネジメント委員では事故を起こさない、起きないように啓発、教育、発信、情報の共有に努めています。



事故予防・防止の勉強会

ケアハウス佑和・ニュース

蘭

ケアハウスでは、フロアに季節の花があふれています。その花々は入居者の方が丁寧に、大切に管理して下さっています。その中でも一段ときれいな蘭の花が目を引きま

光を受けて輝く蘭の花は、見る人を幸せな気分になせてくれます。蘭の花を咲かせるには長い時間と手間がかかります。長い間愛情を注いでくださった事に感謝するとともに、もうしばらくの間、見事な花を愛でる時間を持たせていただこうと思います。



流し素麺

涼をもとめて、6月に流しそうめんを企画しました。中庭で青竹を並べようとしたところに、しとしとと雨が降り始め急遽、ケアハウスの食堂で開催することとなりました。

会場も変更し、そうめんの盛り付け先もお皿へと変更となりましたが、様々な薬味と共に頂くそうめんは格別の味となりました。お酒も進み、カラオケも盛り上がりしました。また、今年の初物として頂くスイカは甘みがあり、皆さんも満足していただけたかと思えます。

食は人生を彩る大切な要素の一つです。四季を通じて、少しでも皆様に楽しんで頂けるイベントを企画していきたいと思っています。



納涼祭

7月18日・19日は、和朗園・納涼祭前日祭・本祭りが行われ、ケアハウス入居者の方々も参加されました。前日祭では、「炭坑節」を男性入居者が歌われ、本祭りでは女性入居者が、「尾道水道」を堂々と歌われました。緊張されていた様子でしたが、出番が終わると笑顔がこぼれていたのが印象的でした。出番終わりのビールがさぞかし美味しかったことでしょう。

祭りは、地域の皆様も参加され、大盛況の内に幕を閉じました。和朗園の夏祭り「納涼祭」は参加者全員で作り上げのお祭りです。今回祭りを盛り上げてくださったお二人と、ご参加いただいたすべての皆様に感謝を申し上げます。



栄養だより

しっかり食べて夏バテ予防

日差しが強くなり、じっとしているだけでも汗が出てきます。暑くなると体温が上がると、皮膚の血管が広げられ、血液が体の表面に集まり、汗を出します。湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり、体に熱がこもって疲れやすくなります。また、食生活では暑いからといって冷たい麺類やジュースなどを摂りがちです。さらに、暑さで寝苦しくぐっすり眠れないなんてこともあるのではな



でしょうか。その結果、体調が崩れて夏バテを起こしてしまいます。夏バテは夏の終わり頃から症状がひどくなりがちです。ひどいと秋から冬にかけて体調を崩したままということにもなりかねません。夏バテの原因は主にビタミンやミネラル・タンパク質などの不足と冷房による自律神経の乱れによって起こります。



夏の過ごし方が一年の体調を決めるといっても大げさではないのです。

夏バテを予防する食事法

①火を使った料理を食べましょう。

夏は思っている以上に冷房で体が冷えています。煮物や味噌汁などじっくり火を通した温かい料理を食べましょう。

②食事は量より質を考えて摂りましょう。

夏は食欲が低下し、麺類などの簡単なもの、アイスや果物が食事がわりという方はいませんか。食欲がなくても1日3食バランス良く、消化の良いものを少しずつとりましょう。



③冷たいジュースやビールに注意

ビールなどのアルコールは利尿作用があり、水分補給にはなりません。また、冷たいものは胃腸の働きを低下させ、なるべく温かい飲み物を飲むようにしましょう。

④水分はしっかり摂りましょう。

汗をかいていなくても水分は失われています。水分は少しづつこまめに摂るようにしましょう。



特養家族会を開催しました！

5月24日に家族会を開催いたしました。24名のご家族に参加していただきました。今年度初めての家族会ということもあり、事業計画を説明しました。計画に基づいて実践してほしいとご意見をいただきました。意見交換会では、普段のケアに関する疑問や質問などを聞く事ができました。この内容を今後のケアに活かして、ご利用者の方の生活がより楽しく、快適に過ごして頂けるように取り組んでまいります。意見交換



会では、面会時間が長くなればより面会に行きやすいとのご意見がありましたので、7月より午前10時から午後7時30分までの面会時間に変更しています。ご都合が良い時には是非、面会にお越しください。次回の家族会は10月の予定です。ご参加お待ちしております。サービス向上委員会

◇お知らせ

記事中の写真は全てご本人、ご家族の承諾を得て掲載しております。掲載写真等に質問等がございましたら、施設までご連絡いただきますようお願い致します。

◇お問い合わせ

TEL 072-660-3600
FAX 072-660-3601
mail:fukuwarouen@kyousei-fukushi.or.jp